



あけまして
おめでとう
ございませう
迎春

大変 介護予算が減額される!!

政府はお金が無いようです...

施設長 吉田憲一

皆様、新年おめでとうございます。

皆様にとって新年がよい年でありますように。

昨年末の選挙も終わり、消費増税も延期となりました。4月の消費税の5%→8%への増税は体感的に物価上昇を実感する事が多いので、まずは一安心と思っている方も多いと思います。しかし何事も、表あれば裏があります。ただでさえ絶望的に不足している、医療、介護、福祉関係の財源が更に逼迫し、厚労省、財務省は介護報酬の減額(3~6%位)を打ち出してきています。財務省が財政再建の観点から、支出の抑制を図るのはある意味当然です。しかし厚労省の迷走は目も当てられない惨状です。そもそも介護保険は、要介護者を抱える家族の物心両面での負担がしばしば限界を超え家庭崩壊、ネグレクト等が社会問題化した事を受け、要介護者を家族と共に(家族だけでなく)社会全体で支えようという趣旨で制度が出来たものです。

それから僅か10年余りしか経っていないのに、やはり家庭が一番と在宅復帰の旗を振り、延命治療は問題ありとする啓発を大々的に行い(胃瘻やめましようキャンペーンはその代表です)、無い袖は振れぬとばかり、給付を削減しています。この方向が続けば、介護保険制度は近い将来、看板は残るが中身は何もない、言わば羊頭狗肉状態になるかもしれません。あと10年すると、いわゆる団塊の世代が後期高齢者となり、母集団が急増するので、当然要介護者も急増する事が予想されます。それまで我々サービス提供者が、業務を継続できるか、正直大変と考えています。皆様もこのような現状を理解して頂き、折りがあれば大いに声を挙げていく事が必要だと考えています。



毎年恒例となるクリスマス会を、12月20日に2階フロアーにて実施しました。いつもは机が並ぶスペースが広い会場となり、人生の“レジェンド”である沢山の利用者様達がひしめき合いました。自分のパーソナルスペースを守る為には、仲間内で“集団的自衛権”の発動も止む無しとの意気込みで争う中、“ダメよ～ダメダメ”と職員が声をだしながら制止していたとか、いないとか...利用者様がまるで“壁ドン”をされて、ウットリとした表情で見守るなかスタートした“ありのままで”の演奏はとても素晴らしく、職員を含め“カープ女子”の様に熱烈なファンを作ってしまった様です。そして通所リハでは、“妖怪ウォッチ”をいつの間に身に着けたのか？と思える程の変貌を遂げた職員達から、今年も“マタ、ハラ”はらする内容の出し物が披露されました。見苦しくとも皆様へのハラスメントでは無いですよ。来年も“危険ドラッグ”と名称を変更した趣旨の様に、皆様に理解されやすい名称、内容のイベントを目指したいと思います。それでは“ごきげんよう”...ではなく、写真と文章で当日の様子を楽しんでください。



利用者の皆様の殆どが三角帽子をかぶって下さり、会場全体がクリスマスツリーの様にキラキラと美しい中、かわいいサンタ姿の女性二人の司会でクリスマス会は始まりました。

オトラベスさんの演奏は今年も素晴らしく、皆を酔わせてくれました。

今年はゲーム的なイベントは除き“利用者様と歌を楽しむ”という企画にしました。司会が「皆で歌いましょう」と言うと、どこからか「いいわよ、何でも歌うわよ！」と答えて下さり、場を盛り上げて頂きました。曲は“たきび”と“雪”。

誰もが子供の頃に歌っていた懐かしいものを選びました。皆様、大きな声で大合唱して下さい、聞いている職員も感動しました。

職員による合唱“サンタが町にやって来る”では、着ぐるみのトナカイが踊ったり、鈴やタンブリンを持って元気に歌いました。楽しんでいただけたでしょうか。

2階介護 千葉



マスにちなんだ曲以外は、毎回新しいものを選び、今回は初めて、南米の古い曲を演奏しながら歩いて入場してみました。また、演奏だけでなく、歌唱にも挑戦し、スペイン語の歌も日本語のナレーション付で聞いて頂きました。また前回に引き続き、フラ

ケアポート・田谷のクリスマス会に、オトラベスの一員として参加させて頂いて、今回で5回目になりました。メンバーも、クリスマス会で演奏させて頂ける事を大変楽しみにして、いい演奏が出来る様に一生懸命練習してまいりました。演奏する曲目もクリスマス





ンスやスペイン等の海外公演を重ね、NHK の大河ドラマや年末の紅白歌合戦にも、氷川きよしと共に出演した、私達の先生による特別演奏も一曲だけではありませんが、披露して頂けました。如何でしたでしょうか？普段あまり聞くチャンスが少ない南米アンデス地方のフォルクローレという音楽に少しでも興味を持って頂けたら、嬉しいです。

また、次回も呼んで頂けたら、光栄に思っています。

3階介護 納所



街が賑わい華やかさを増し、みんなの心もワクワクしはじめるクリスマス。デイケアでも

「私はもう6回目のクリスマスだよ」

「私は初めて」

「俺なんて、今までもらったプレゼントが引き出し一杯にあるよ」

「いつからやるの？」

クリスマス会を待ちわびる声があ

ちらこちらで聞かれました。2014年度は18日から24日までの中5日間にクリスマス会を開催しました。

今年の出し物は日替わりで行い、18日19日は、往年の名番組クイズダービーの様に職員が回答者となり、利用者様にはどの職員が正解を答えられるか当てて頂きました。22日23日は職員による仮装卓球大会。巫女さんやミイラ、チップアンドディール、ミニーちゃん、ライダーや野球選手。恰幅の良い豹。事務所からは井出サンタにも参戦してもらい卓球対戦に臨みました。24日はロシアンルーレット。用意された食品の中に一つだけ辛い物や酸っぱい物が入れてあり椅子取りゲームをしながら食品を食べます。運悪く当たってしまうと、涙や震えが出るほどの辛さでした。



いずれの日も利用者様にも結果を予想して頂く参加型をとった事もあり、御一緒に楽しんで頂く事が出来ました。

恒例のハンドベルは、何度やっても緊張します。いつになく真剣な眼差しの職員を見て頂けましたか？

そしてビンゴ大会でもう一盛り上がり、ささやかなプレゼント何がお手元に届いているのでしょうか？クリスマス会が終わると、今年も一年間無事に過ごせた事に、職員一同ほっと胸を撫で下ろしています。ワイワイと自分達が楽しんでしまった感もありますが、そこは自分が楽しくなければ人を楽しませる事は出来ないと信じ、2015年も大いに楽しく笑顔あふれるデイケアでありたいと願っています。本年もどうぞよろしくお願い致します。

通所介護 岩谷

午から羊へ

事務所正面の壁に飾られた羊の壁画、皆様もうご覧になれましたか？

デイケアでは日々の作業活動として、色々な作品の制作に取り組んでいます。その1つに毎年恒例の「千支の壁画」があります。今年は仲良く牧場で暮らす羊の親子を描いてみました。羊の毛は、以前入所のご利用者のご家族から頂いた、ウール100%の高級な極太の毛糸です。「良い毛糸ね」「本物の羊の毛糸だわ」「良く子供のセーターを編んだのよ」毛糸の肌触りに皆さん懐かしみながら慣れた手つきで大量のボンボンがあっという間にできあがりしました。背景はお花紙をお団子作りの要領で丸めた物を1つずつ糊では貼っていきました。時間と根気のいる作業です。12月の中旬になるとご利用者から「間に合うかしら」「頑張っ

お互いさまに

「もっと低く。鼠の目線くらいに！」

個別リハビリを実施していると、このような言葉が聞こえてくる事があります。

「まだ甘いですか？」

「もっともっと。這いつくばる位に！！」

これはトレーニングの為の言葉ではありません。利用者様から私へのアドバイスです。内容はさておき。

他にも、日本初のスキー板の製作をした方を身内に持つ方が、雪国の知識を教えて下さったり、様々な有益となる情報を新聞の切り抜き等をお持ちになり教えて下さる方。これからの天気の変化をお調べになり、外歩き練習への影響や私の通勤時への影響までご心配頂ける方など。リハビリの時間は様々な知識を頂いております。

個別リハビリを実施していると、どうしても教え手と受け手の関係が成り立ってしまい、色々な事にご遠慮される方も多々いらっしゃいます。リハビリの最中も人生の大先輩に変わりはありません。ぜひ、色々な事をお伝え頂けると、リハビリの言葉が意味する、回復、社会復帰、復権など、広く意味するこの言葉の糧になると思います。

さて、先程のアドバイスのお相手は、写真などの個展を開かれた御経験のある利用者様のお言葉です。私の撮影した写真への評価は流石に的確です。

右のススキの写真は私が撮影した写真。もっと目線を低く見上げる様にする事で、主であるススキの穂の背景がスッキリする様です。また、風で穂がなびいてる方が、写真に動きが出て更に穂が大きく写るそうです。そしてもっと逆光であれば、穂が輝く美しい写真になると... 師匠、間違えてたらすみません。



の冬の寒さとは対照的にそこは熱気と笑顔にあふれていました。

羊は群れをなして行動する事から、家族の安泰や平和をもたらす縁起物とされているそうです。一人ひとりの力は小さくても、皆で力を合わせれば大きな力になる事。人と人との輪を大切にしていけることが幸せにつながる事。今回の壁画作業を通して実感しました。

こうしてご利用者の皆様の尽力により穏やかで温かな羊が仕上がりました。心がちょっと疲れている時この羊が癒してくれるのでは・・・。

通所相談員 酒井